

堂満岳

山行報告書

和歌山県勤労者山岳連盟 紀峰山の会 Ver_2024112
 事務所：〒641-0044 和歌山市今福1丁目1-11 アマノマンション202号

山行報告書提出日	2024年 5月 15日	報告書記入者	kamisan
山行期間	2024年 5月 12日(日) ~ 2024年 5月 13日(月)		
山名・山域	堂満岳 比良山系	登山方法	ハイキング
主催グループ	らいちょう		
山行目的他 山行区分	堂満岳(1,050m) 一日目	<input checked="" type="checkbox"/> 会山行 <input type="checkbox"/> 公開山行 <input type="checkbox"/> 自主山行	

参加メンバー			
任務	氏名	任務	氏名
CL	Gさん		
SL	kamisan		
	Iさん		
	Sさん		



ルート図 歩行距離：8.33km ノタノホリの池のサンショウウオ↑
 高低差：800m 大山口でのキツツキ↑



時刻	場所
07:00	岩出図書館駐車場出発
09:25	イン谷口駐車場着
09:40	準備後出発(250m)
10:10	大山口(390m)
11:00	青ガレ(647m)
11:45	金糞峠(878m)
12:50	堂満岳山頂(1050m)
13:25	昼食休憩後出発
14:55	ノタノホリ(439m)
15:40	イン谷口駐車場着(250m)
16:00	支度後出発
17:40	宿泊地「むらみや」着-宿泊

山行記録 堂満岳とはどこにも書いてない道標→
 天気が雨模様で、山行実施するかどうか迷ったが、参加者は前向きで、初日は昼迄、二日目は10時頃から雨は無いとの事で予定通り実施。
 初日9:25着だと駐車場は天気には多い。雨の準備して既に登山開始している。急いで支度し体操して歩き始める。いきなりノタノホリ方面の登山口が分からない。そのまま逆コースで堂満岳を目指す。青ガレ付近は崩落があるので迂回とか書いているが、どんどん降りてくる人がいるし気にしないで登って行く。金糞峠で一息。登山者が少ないのか、途切れがちなテープ頼りに堂満岳山頂へ。どうも我々だけらしい。一泊予定なので急がず下山。有難いことに下山迄天気もよかった。

山行中のトラブル シャクヤクはすでに終わり、イワカガミ満開→
 イン谷口(バス停の名前だった、はじめて知った)に駐車場有、トイレは大山口方面に少し登った所にある。歩き始めてすぐにあるノタノホリ方面への分岐には、ノタノホリも堂満岳も金糞峠も明示なく、これを行くには勇気が要った。堂満岳は登山者が少ないのか、分岐からは誰も会わず。静かな山行となる。金糞峠から南比良と堂満との分岐が分かりにくく、テープも少なくなるので、少し迷った。経験者いれば大丈夫。

その他感想等 湿度100%の山頂→
 天気が気になりながら、何とか初日は無事山行終了。明日も山行出来ることを祈りながらの宿泊が日曜日とはいえ、ビジネスコースで一泊二食で8,000円(参考までにカニ三昧コースは22,000円)で結構魚が美味しくてボリュームもあり大正解との評価を頂きました。明日に備えて早くから寝た一日目でした。ちなみに本日の歩数は17,810歩でした。



青葉山（西峰） 山行報告書

和歌山県勤労者山岳連盟 紀峰山の会 Ver_2024112
 事務所：〒641-0044 和歌山市今福1丁目1-11 アマノマンション202号

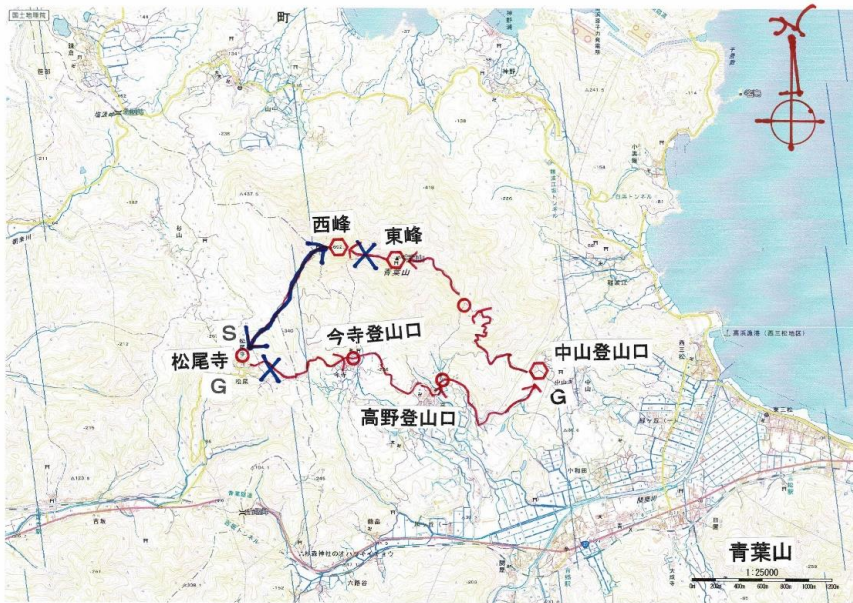
山行報告書提出日	2024年 5月 15日	報告書記入者	kamisan
山行期間	2024年 5月 12日（日）～2024年 5月 13日（月）		
山名・山域	青葉山 丹波山地	登山方法	ハイキング
主催グループ	らいちょう		
山行目的他 山行区分	堂満岳（1,050m） 一日目	<input checked="" type="checkbox"/> 会山行 <input type="checkbox"/> 公開山行 <input type="checkbox"/> 自主山行	

参加メンバー

任務	氏名	任務	氏名
CL	Iさん		
SL	kamisan		
	Gさん		
	Sさん		



ルート図 歩行距離： 4.1km ロシアよりの引揚船棧橋（復元）↑
 高低差： 446m 6m以上の高さのタケノコ



時刻	場所
08:30	宿泊地「むらみや」出発
:	舞鶴港引揚船棧橋見学
:	引揚記念館見学
:	赤れんが博物館見学
12:00	「卑弥呼」にて海鮮昼食
12:55	松尾寺駐車場着
13:05	準備後出発(243m)
14:30	青葉山西峰山頂(689m)
14:50	休憩後下山開始
16:00	松尾寺駐車場着
16:15	支度後出発
19:15	岩出図書館駐車場着-解散

山行記録 帰りの道から青葉山の双耳峰の写真(両方登りたかった)→

夜中中雨風。海岸脇の宿屋の窓から祈りながら眺めるが朝まで降りやまず。「虎に翼」見てゆっくり出発、観光に切り替える。雨は昨晚の予想では10時までだが、今日には昼までに延びている。舞鶴港の観光をし、海鮮のお昼を食べて、念のためコース途中の松尾寺へ。

雨もようやく止んで、短縮で西峰ピストンとする。せめてもの、何とか青葉山の麓に触れることが出来て何となく満足。残念ながら、西峰から眺望は無く、下山後の帰りの車から何とか双耳峰の山の写真を撮ることが出来た。今日も有難いことに天気が回復してくれて、和歌山に7時頃に帰ってこれた。メダタシ！メダタシ!!



山行中のトラブル 西峰山頂の一枚岩→

泣く子と地頭には勝てず。無理せず雨が止むのを待っていたらすっかり午後からになってしまう。鎖場・岩場も有るので雨なら中止と話し合っていたが、予報10時から雨が止むが、昼まで止まない。確かに雨が降っている中では歩きたくない滑りやすい、急登の登山道でした。滑る事三度。慎重に時間かけて歩く。

道標もあり道迷いの心配無し。トイレは松尾寺奥の方にあり。5時間30分で周回する予定だったが、もっと時間かかりそうなので、要注意

その他感想等 湿度200%の山頂→

なかなか雨が止まず、諦めかけましたが、1時前参詣の為松尾寺へ。雨がすっかり止んでいて、最後のチャンスで西峰ピストン提案したら、あっさり合意。早々と支度してピストンして来ました。出来れば東峰往復したかった。ちなみに本日の歩数は10,660歩でした。

